

編集後記

第27巻3号をお届けするにあたり残念なお知らせがあります。今年度から編集委員長として本誌をリードされてきた蔡芒錫先生が事情によりお辞めになられました。先生は本誌のあり方を基本にかえて見直し新しい方向へと進めていこうとされていた所であり、学会にとって非常に大きな損失です。今号の編集もほぼすべて先生のご尽力によるものであり、本誌を代表して先生のこれまでのご貢献に感謝いたします。なお先生には本誌の将来へむかっての貴重な示唆をいただきました。ここに、先の号に掲載された Lips-Wiersma 氏の講演に関連して先生が書かれたものを一部補記のうえ引用します。

第27巻2号掲載の Lips-Wiersma 先生の講演は、我々が忘れかけていた理想を前面に押し出している。振り返ってみると、我々はまさに先生の根本的な問い、つまり、意味のある研究、世の中のためになる研究、より良い世界作りに貢献する研究をやりたくて、研究者としての道を選んだのだ。それが故に我々は、「これでいいんだ、現実だからしかたないんだ」と自分自身に言い聞かせながらも、時々「本当にこれでいいだろうか、私ってこんな研究をするために研究者となったのだろうか」という根本的な問いに悩まされる。時々我々を襲ってくるこのような問い・悩みの根底には、「意味の喪失」がある。「私は本当に、世の中のためになる研究・教育を行っているか」、という意味の喪失。しかしだ。よく考えてみよう。知的な好奇心・夢に駆られた研究、世の中のためになる研究、より良い世界作りに貢献する研究が果たして我々の夢・理想であろうか。いや、これらの研究は我々の夢・理想なんかではない。これらの研究は、我々共同体の「目標 (goal)」であり、「存在意義」であり、社会が我々共同体に託した「社会的責任」である。

後任を務めるにあたっては先生のお考えを大切にしつつ、経営行動科学の専門誌として研究者、実務家のみなさまに最新の成果を伝え、研究と実践に貢献する学会誌づくりのため努力していきます。なお、常任編集委員には松尾陸先生にも加わっていただきました。

本誌はみなさまによる投稿と編集へのご協力によって成り立っています。今後ともご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

編集委員長 井手 亘

Editor-in-Chief Wataru Ide, Osaka Prefecture University

Managing Editors Toshihiro Matsubara, Aichi Gakuin University
Yasuo Hoshino, Aichi University and University of Tsukuba
Kiyoshi Takahashi, Kobe University
Naotaka Watanabe, Keio University
Nobuaki Namiki, Rikkyo University
Makoto Matsuo, Hokkaido University

Associate Editors

Midori Egawa, Tokyo Institute of Technology	Kiriko Sakata, Hiroshima University
Tetsushi Fujimoto, Doshisha University	Sachiko Sano, Fukuoka Jogakuin University
Hiroya Hirakimoto, University of Hyogo	Tomoki Sekiguchi, Osaka University
Mitsutoshi Hirano, Kobe University	Jirou Takai, Nagoya University
Hongseok Kim, Takasaki University of Commerce	Norihiko Takeuchi, Waseda University
Akira Ishikawa, Aoyama Gakuin University	Ken'ichiro Tanaka, Nihon University
Takashi Kakuyama, Tokyo Future University	Mami Taniguchi, Waseda University
Atsuko Kanai, Nagoya University	Stephen Turnbull, University of Tsukuba
Tadahiko Kawai, Chuo University	Hajime Ushimaru, Meiji University
Takeshi Kawai, Nagoya Sangyo University	Shinichiro Watanabe, University of Tsukuba
Yoshiaki Matsuura, Kanazawa University	Hiroshi Yamamoto, Aoyama Gakuin University
Motohiro Morishima, Hitotsubashi University	Masaru Yamashita, Aoyama Gakuin University
Hisako Munekata, Kinjo Gakuin University	Soumei You, Akita International University
Noboru Ogura, University of Tsukuba	Eri Yokota, Keio University

Special Associate Editors

Gary Dymksi, University of Leeds
Miriam Erez, Technion-Israel Institute of Technology
Sanford M. Jacoby, UCLA
Masaaki Kotabe, Temple University
Jong-Bub Lee, Dong-A University
Shigefumi Makino, The Chinese University of Hong Kong
Elizabeth L. Rose, Victoria University of Wellington
Mariko Sakakibara, UCLA
Shane J. Schvaneveldt, Weber State University
Hirokazu Takada, The City University of New York
Yoshihiro Tsurumi, The City University of New York
Chikako Usui, University of Missouri at St. Louis

THE JAPANESE ASSOCIATION OF ADMINISTRATIVE SCIENCE
Institute for Organizational Behavior Research, Recruit Management Solutions Co.,Ltd.
1-9-2 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan 100-6640
Phone : +81-03-3211-6551 ; Fax : +81-03-6834-8342
E-mail : jaas@recruit-ms.co.jp
Home Page : <http://www.jaas.jpn.org/>